

清水建設株式会社が発行する 「グリーンボンド」への投資について

大東京信用組合（理事長 柳沢祥二、以下「当組合」）は、このたび、清水建設株式会社（以下「本法人」）が発行する第 26 回無担保社債（グリーンボンド）、（以下「本債券」）への投資をいたしましたので、お知らせいたします（本債券発行日 2019 年 12 月 12 日）。

「グリーンボンド」とは、調達資金の使途が環境配慮型投融資案件に資するものであることに限定された債券です。

本法人は、本債券の資金使途として、全額を横浜市西区みなとみらいにて建設中の賃貸オフィスビル「横浜グランゲート」の建設資金のリファイナンスに充当する予定です。「横浜グランゲート」は、非常時の事業継続・エネルギー確保（BCP）と、平常時の節電・省エネ対策（eco）を両立する「ecoBCPオフィスビル」として設計されており、本プロジェクトに合わせて開発された最新の放射空調システムをはじめさまざまな技術を導入しています。

また、本債券につきましては、国際資本市場協会が定める「グリーンボンド原則（Green Bond Principles）2018」および環境省が定める「グリーンボンドガイドライン 2017 年版」に適合する旨の第三者評価を、株式会社格付投資情報センター（以下、R&I）から受けております。また、R&I による「R&I グリーンボンドアセスメント」の最上位評価である「GA1」の本評価を取得しております。

当組合は、今後も ESG 投資を通じて、SDGs の達成に貢献する事業を資金面からサポートし、持続可能な社会の形成に寄与すべく社会的使命・役割を果たしてまいります。

以 上